

# 道標ない旅

自分も人も大切に  
～思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心～



## ◆◆ 動画配信を実施しました。お子様のクラスの授業はどんな感じだったでしょうか。 ◆◆

今回の授業は構えて作成したものではなく、普段の授業をそのまま動画にまとめさせていただいたものです。子どもたちの普段通りの様子を感じていただけたのではないのでしょうか。土曜参観の代替として、普段学校に来ることが難しいご家族の皆様で、様子を感じていただけたらやった甲斐があるなどと思います。なお、2月には授業参観を企画しております。実施できればいいなと願っております。

同時公開いたしました、校長集会サイエンスショーもいくつかご覧になりましたか？科学現象を通して、子どもたちが学ぶこと、知識を身に付けていくことに楽しみを感じてもらえるようやっています。こちらについても楽しんでいただければ嬉しい限りです。



## ◆◆ アンケート結果を踏まえた、長柄小学校の重点目標に対する学校評価中間報告 ◆◆

### ①重点目標1. 新しい時代に必要な資質・能力を育む学校

教職員アンケートから見る意識の変化は、おおむね望ましい向上傾向にある。ただし、話し合う活動場面に對する、児童や保護者の評価はまだまだ足りない部分と捉えた方が、授業改善を進めることにつながるだろうと考えられる。新設問の ICT 機器等授業の工夫については、児童が高い評価を出しており、今後に期待が持てる。各個人が「主体的・対話的で深い学び」を一層追求していけるよう授業研究等を通して支援していきたいと思う。

### ②重点目標2. 豊かな心を育み、信頼でつながった学校

教職員の意識は6月の意識とおおむね違いは無い。児童のアンケート結果は基本的に良好な方向へ推移しているが、保護者アンケートの結果は、全般的に厳しい目が向けられたと感じる。(4)相談しやすい先生(5)自信を持たせてくれるといった項目が大きく評価を下げたことは課題と捉えたい。教職員の意識の横ばい状況と、保護者の評価の落ち込みには何らかの関連性があると感じられる。校内で事実を共有し、立て直しのきっかけを得ていきたい。



### ③重点目標3. 地域を愛し、地域から愛される学校

教職員アンケートの結果は、一つを除き、いずれも評価が下がった。保護者アンケートにおいても、(2)家庭や地域と連携した運営や、(3)情報発信、開かれた学校作りに対して、評価がかなり後退した。このことについては、教職員自身が同じ内容で評価を下げている点が一致しており、今年度の「家庭や地域との連携」や「開かれた学校作り」のあり方に自信を持って臨めていない、或いは努力不足を感じる教育活動であったと反省すべき点と考える。とても大切な項目であるので、挽回を図っていきたいと思う。

### ④重点項目4. いじめ防止に向けた対策

教職員アンケートの結果は意識の向上が見られ、おおむね良好の状態にある。児童アンケートも否定的な児童数が減少し、向上が見られた。一方、保護者アンケートの評価は、「そう思う」数が半減し、否定的な方が増えたため、大きく後退した。学校としては後退したと自認する要素が全く無く、いじめに対してはより積極的に対策している思いであるが、ここにずれが生じている点が大きな課題と考えられる。この事態を職員で共有し改善に努めていきたい。

→自由記述への回答において、「学校はいじめや不登校に関して、どのような対応・対策をしているか」という質問があり、学校が今年度に入り「いじめ対策」に対して、手を抜いたり、後退したという事実は全くないこと。例年との違いを言えば、より保護者の皆様の立場に立ち、「本人がいじめと感じた行為はいじめ」という認識にしっかり立ち、例年以上に、事案を看過することなく、細やかに対応しているという見解を示した。また、不登校の児童に対しても担任を支援しながら取り組んでいること。Chromebookを活用し、学校という場に限りなく支援体制を組んだり、個人に応じたケース会議を適宜開くなどして、学校としてできることを日々模索したり、学校内に居場所を工夫できないかなど、新たな検討を加えたりしていることを示した。

◆◆ 運動会は、午前中型の現在の形式を次年度以降も固定していくことを決定しました。 ◆◆

1 2月2日の第4回合同学校運営協議会にて、委員から全会一致で本提案が支持された本案が職員会議においても承認されました。コロナ禍での工夫で始まったスタイルですが、このスタイルは、コロナによらず、

1. 働き方改革に通じる、行事の精選で目指すスタイルとも合致する。
2. 昨年度のPTA運営委員会等でも保護者の支持が圧倒的でした。従来型の運動会の印象が残るこの時点で変更するのがPの皆様の賛同を得た変革になる。
3. 準備期間を短縮することが可能なスタイルである。(授業確保の一助になり得る)
4. 児童の満足度も一定程度担保できる状況である。
5. 違法駐輪等、近隣地域の皆様への迷惑や、場所取り等で起こっていた弊害等がほとんどない。

メリットが際立っていた点で、次年度以降のコロナに左右されないスタイルと判断されました。

あとは、午前中で終える時間帯の中で、6年生が活躍できる種目や、大玉転がしのような全校種目を組み込む工夫の余地等を検討を加えていきます。皆様のご理解を宜しくお願い申し上げます。

◆◆ 高学年（5・6年生）の通知表には学年末に3段階の評定をお伝えします。 ◆◆

本年度から3年生以上の「長柄の子（通知表）」が観点別評価をお伝えする形に切り替わりました。そして小中連携を見据えると、高学年においては評定を伝えるのが必要となりました。中学は5段階評価ですが、小学校でお伝えする評定は3段階です。3学期には評定の見方が分かる学校だよりを出す予定です。

◆◆ 校長集会サイエンスショー12月分を実施しました。動画を見た方もいるかと存じます。 ◆◆



今回のサイエンスショーは「ふりこのふしぎ」をお届けしました。

振り子の長さがおなじ振り子同士は、とても仲の良い（おなじ性質を持つ）振り子となり、長さの異なる振り子とは別物になります。写真は、短い・中くらい・長い3種類の振り子です。問の1では、「他の振り子を揺らさずに、真ん中の振り子だけを揺らせるか」という出題をしました。長さが違えば別物の振り子なので、真ん中の振り子の大好きな揺れ（揺らすタイミング）を横棒を通して気づかれないように伝えると、念力で動かしているかのごとく、真ん中の振り子だけを大きく揺らすことができます。同様に揺らすタイミングを変えれば、短い振り子だけ、或いは長い振り子だけ揺らすことだってできるのです。自分の好きなタイミングで無い場合は振り子は反応しないのです。



これを地震で考えると、今回用意したモデルは簡略化しすぎではありますが、下の地面に相当する紙を、急いで揺らすと短い紙が細かく激しく揺れますが、中・長の紙はあまり揺れている様子はありません。揺れのスピード（正しくは周期といいます）を遅くして時間をかけるようにしていくと、やがて真ん中の紙が大きく揺れます。問の2では、「下の紙をゆっくり動かすとき、大きく揺れるのは、短・中・長のどの紙でしょう」と出題したので、ゆっくり紙を揺らしたときにバタンバタンと揺れた長い紙が正解となります。このことは、実際の地震で、地面が2秒から20秒くらいの周期でゆーさ、ゆーさと揺れたとき、

都会の高層マンションはそれにタイミングが合う高さの高層ビルが、左右にとんでもなく揺れることとなります。興味のある方は、「長周期地震動」というキーワードで検索すればすぐに出てきます。

問3は「共振現象」を紹介しました。長さの同じ（仲の良い）振り子を体育館に張ったたこ糸から2つ吊り下げます。そして片方を揺らすとどうなるかという出題です。正解は児童もびっくりの片方の揺れが上の糸を通して伝わり、隣が揺れ始めますが、隣に揺れのエネルギーを伝えた最初に揺らした側は、ピタリと止まってしまうのです。この揺れの移り変わりが交互に続くので児童も不思議を感じたようです。

